

<5月 3原色アート> 実施報告 アンジェリカ田町保育園



やさしい K-ART

2025年5月のテーマ『3原色アートワーク』

初回は導入として、キットパスという画材で
混色とフレーミングの技法を使ったアート
作品を作ります。

1. 新聞紙
2. キャンバスボード
3. マスキングテープ
4. キットパス(赤、青、黄、白)
5. ベビーパウダー(粉、パフ)
6. 鉛筆
7. 持ち帰り用PP袋



<テーマを決める>

日常の生活の中であふれている色に興味を持って考える機会にしました。

<問い合わせる>

「（作品イメージを見せて）この作品には何色使われているか？」

「色ってどうやって作られているか？」

「好きな色は何？」

「好きな色を自分で作れるかな？」

「この色は何と何を混ぜたの？」

3原色+白でいろいろな色ができるという『混色』を学び、子どもたちが自由に塗る中で偶然にできた色について考えてみました。

「キットパスを折って使うのはなぜ？」

クレヨンを使っていると鉛筆持ちできれいに使うことが多いですが、折ったらダメ、手を汚したらダメと言われるのに、なぜアートの時は折るのか？という理由を考えてもらい、意味をしっかりと伝えます。また、鉛筆持ち、側面を使う、指でのばす・・・など、色の混ざり方や感触の違いを手で感じ取ってもらいました。

<環境をデザインする>

「まっすぐな線を引くにはどうしたらいい？」

完成前で実感することですが、まっすぐな線を手で書くということはとても難しいことです。今回はマスキングテープを使い、まっすぐな線を描きます。「画面分割」という難しい言葉もあえて使って覚えてもらうことで、達成感を向上させます。

「キットパスという画材は何で作られているでしょうか？」

お米から作られた水溶性固体マーカーやマスキングテープ、キャンバスなどの画材や道具の説明し、子どもたちが日常あまり使わない材料・道具を使いました。

また、クレヨンのように鉛筆持ちするだけでなく、キットパスを折って側面を使って広く塗るなど、こうしなければならないという「たがを外す」ことで子どもたちの興味を持たせました。

<5月 3原色アート> 実施報告 アンジェリカ田町保育園



<探究活動を実践し、記録する>

5/13

(4歳児) これから作る作品のイメージを見せることで、「きれいだけどむずかしそう」などの声が上がる中、ひとつひとつステップを超えていくことで、だんだん形になっていくと取り組み方も積極的になってきました。また、好きな色、色合いなどみんな違って個性が出て面白い作品に仕上がりそうです。

(5歳児) 画材の匂い、キットパスが柔らかくちょっとペタッとした感触、手が汚れることへの不安も見えましたが、進んでいくごとに行動に規制をかけている「たがが外れた」瞬間から、色の選び方、塗り方、筆圧なども変わり、イメージを持ちながらしっかりと塗り込まれるようになってきました。みんな没頭して楽しんでいた様子で、次回の完成が楽しみです。

<5月 3原色アート> 実施報告 アンジェリカ田町保育園



<5月 3原色アート> 実施報告 アンジェリカ田町保育園



<探究活動を実践し、記録する>

5/20

(4歳児) 少し塗り足してからパウダーで色どめ、テープをはがし、天地を決めて、えんぴつでサインを入れて完成しました。キットパスでベタベタする感触が、パウダーをすることで表面を固着させてるので、ベビーパウダーの香りや手がツルツルになる感覚などで色どめ作業を楽しんでいました。メインイベントのテープはがしでは、「わあ、白い!」「きれい!」とこどもたちの達成感も高まっていたと思います。そして、みんなから見てもらいながら天地を決めて、サインを入れた時に自己肯定感もぶわっと上がった顔をしていましたのがとても印象的でした。

(5歳児) 非常に進みが早かったため、パウダーで色どめ作業からのスタートをしました。前回に伝えた難しいこともしっかりと覚えて答えられるところは、さすがしっかりしている年長さんでした。理解も早く無駄な動きも少ないので、スムーズに進んだため鑑賞＆天地決めに時間を多めに取りながら進めました。天地を決めるところで、何番が良いか自分の意見もしっかりと言えて素晴らしいと思いました。完成された作品も個性があり、みんな素晴らしい作品に仕上りました。親御さんの反応が楽しみです。